

**神奈川区地域子育て支援拠点事業
令和6年度重点目標評価結果・令和7年度重点目標**

事業実施期間	令和6年4月1日～令和7年3月31日(3年度目／5か年度)
事業の実施者	特定非営利活動法人 親がめ
	神奈川区こども家庭支援課
事業目的	市民が安心して子どもを生み育て、子育てに喜びを感じることができる社会環境を形成し、子育てを地域全体で支援する地域力の創出に寄与することを目的とします。 【事業・施設運営の基本理念】 1 神奈川区における、地域による子育て支援の拠点施設としての運営 2 子どもの視点に立ち、すべての就学前児童及びその養育者、並びに子育てに関する支援活動を行う者に開かれた運営 3 子どもと家庭を支援する各種の行政等機関・地域等との連携を図る運営 4 利用者の意見、子育てをめぐる社会情勢、市民ニーズの変化に柔軟に対応できる運営 5 子ども及びその養育者の育ちを支援するとともに、養育者自身が事業の担い手として関わることができる視点に立った運営 6 地域の人と人とのつながりを広げ、地域ぐるみの子育て支援を目指す運営
事業の内容	1 乳幼児の遊びと育ちの場及びその養育者の交流の場の提供(親子の居場所事業) 2 子育てに関する相談及び関係機関との連携に関すること(子育て相談事業) 3 子育てに関する情報の収集及び提供に関すること(情報収集・提供事業) 4 子育てに関する支援活動を行う者同士の連携に関すること(支援者ネットワーク事業) 5 子育てに関する支援活動を行う者の育成、支援に関すること(人材育成、活動支援事業) 6 地域の住民同士で子どもを預け、預かる支え合いの促進に関すること(横浜子育てサポートシステム区支部事務局運営事業) 7 子育て家庭のニーズに応じた施設・事業等の利用の支援に関すること(利用者支援事業)
事業の評価実施方法及び評価結果の公表方法	1 今年度の取組状況や利用者アンケート結果等をもとに、協働契約書中の役割分担表の項目に沿って設定した、今年度の達成目標のうち、当該年度に特に重点的に取り組む達成目標である「重点目標」について、以下の通り、相互振り返りを踏まえた取組成果と課題を公表します。 2 今年度の取組状況や成果、課題を踏まえ、次年度の重点目標を公表します。

令和6年度重点目標の評価

令和6年度重点目標	中間事業評価実施のため省略
取組内容	中間事業評価実施のため省略
取組の成果	中間事業評価実施のため省略
取組の課題	中間事業評価実施のため省略

次年度重点目標

令和7年度 重点目標	1. 地域ごとに存在する、子育てに関する連絡会やネットワークに参画しながら、区域の子育て支援ネットワークの在り方を区と共に検討していきます。 2. 妊娠期から乳幼児期、青年期まで、切れ目のない支援の必要性が高まっています。区内の多様な場とのつながりを活かしながら、妊婦やその家族、様々な状況にある子育て家庭に、広く情報を届け、必要な支援につなげていきます。
取組内容	1. ①区福祉保健センター、区社会福祉協議会と連携し、現在ある地域ごとのネットワークについて事例を共有しながら現状を把握します。また、共に地域に必要なネットワークを検討していきます。 ②各種連絡会に参画し、子育て家庭の現状を伝え、地域ごとの課題を検討し共有します。各所との関係を育み、多角的な視点を持ちながら課題に対して取り組んでいきます。 2. ①こども家庭庁「はじめての100ヶ月の育ちビジョン」に基づく、妊娠期から学齢期に移行する頃の重要性と、大切な視点について、地域と共に学びを進めます。 ②妊娠期からの支援として、産前からつながる産後の生活を安心してスタートし、地域で支え合うために、必要な資源の把握や情報提供について、より丁寧に進めていきます。 ③「中高生とのふれあい体験授業」の実践と意義について振り返り、活動場を広げていくために、地域に働きかけていきます。 ④拠点に寄せられる相談が多岐にわたるようになっていきます。子どもの育ちを中心に相談者に寄り添うと共に、切れ目のない支援体制づくりを目指します。